

南無阿弥陀仏って
なあに？

好きな自分と 嫌いな 自分...

こんな自分は好きだけど、こんな自分は嫌い
昨日まで好きだった自分が、今日はなぜか嫌いな自分になっている
そんな自分が許せなくなって、また嫌いな自分になっていく...



なむあみだぶつ
南無阿弥陀仏って「比べなくていい」ってこと!!

南無阿弥陀仏は「あなたは何とも比べることのできない尊い存在であることに気付いてほしい」という願い
好きな自分って誰かと比べて優れている自分かもしれない
嫌いな自分って誰かと比べて劣っている自分かもしれない
もしかしたら自分の中にある「過去の自分」「理想の自分」と比べているのかもしれない
「好き」とか「嫌い」とか、「優」とか「劣」とかではない
過ぎ去った「過去の自分」でもない
自分が勝手に作り上げた「理想の自分」でもない
何も足さなくても、何も引かなくても
今ここを生きる自分が、「自分のままに尊い」



鸞恩(らんおん)くん
(本山公式キャラクター)



われ まさ む じょうそん
吾当に世において無上尊となるべし。「仏説無量寿経」
ぶつせつむりょうじゅきょう



この言葉はお釈迦さまがお生まれたになった時に言われたと伝えられています。「無上」は「この上がない」ということです。「この上がない」ということは「この下もない」ということ。つまり何かと比べて「上である」とか「下である」とかと比較しなくていい。それ自身が「尊い」ということです。別の言葉で言えば「天上天下唯我独尊」(天の上にも天の下にも、ただ我、独として尊し)です。

これらの言葉が意味するところは、お釈迦さまその人が尊いということではなく、誰とも代わることのできない私たち一人ひとりが「生まれた」ということにおいて尊いということ。更には、赤ちゃんは何も持たず、何も身に着けずに裸で生まれてきますから、何一つ足す必要がないままに尊いということ。何らかの条件、お金や学歴や地位や名誉などの有無を超えて、「人として生まれたこと」、そして「そのままの私」の尊さを教える大切な言葉です。

Shinran 550th Anniversary

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

宗祖親鸞聖人
御誕生八百五十年
立教開宗八百年慶讃法要

東京教区500カ寺からつながる

お待ち受け大会

2022年6月13日(月) ライブ配信
LIVE 13時30分開会 15時30分閉会

【当日スケジュール】

- 13:30 開会
- 13:40 挨拶 【大谷暢裕ご門首】
- 13:45 勤行 【正信偈同朋奉讃】
- 14:05 休憩 ※写真スライドの上映
- 14:20 挨拶 【木越渉宗務総長】
- 14:25 記念講演 【池田勇諦氏】
- 15:30 閉式

【講師】

池田勇諦氏
同朋大学名誉教授
真宗大谷派 西恩寺前住職
(三重県桑名市)



オンラインによるお待ち受け大会 !!

大会の詳細・ご参加はこちらから

